

TSUDOI

スタンダードプラン 月次分析レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

TSUDOIで集計・分析する、複数の有名格付け機関によるスコア評価

◆『狙い目：中堅銘柄』発掘ガイド

仮想通貨業界全体のトレンド銘柄分析

◆『大穴：新規銘柄』発掘ガイド

VC出資先分析に基づく、注目新規銘柄情報、CMC新規リスト銘柄分析

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



有料
レポート

2025年5月末～2025年6月末 仮想通貨業界市場動向

◆ 業界全体の時価総額 推移

2025年6月1日～6月29日の仮想通貨市場は、米利上げ観測とETF期待が交錯する中で方向感に乏しい展開となりました。時価総額は約3.28兆 USD (約466兆円) から約3.31兆 USD (約471兆円) へと **+1.0%の小幅拡大**にとどまり、月中高値3.50兆 USDからは押し戻されています。

基軸通貨ビットコイン (BTC) の価格は、6月1日の105,703.63ドルから6月29日の108,412.77ドルへ **+2.6%上昇**。Coinglass月次ヒートマップによれば2025年6月の変動率は+3.55%で、4月 (+14.08%)・5月 (+10.99%) の勢いには届かず一服感が強まりましたが、10万ドル台を維持したことでアルト市場のリスクオフは限定的でした。

◆ ドミナンス推移

2025年6月1日～29日の仮想通貨市場における BTC・ETH・Top50 (BTCとETH除く)・その他通貨のドミナンス推移を要約します。

ビットコイン (BTC) は月初64.05%から24日に67.56% (月内高値) へ上昇後、月末65.10%で終了。12日には60.26%まで沈む場面もあり、上下幅7ptと振れが拡大しました。

Top50アルトの比率は25.50%→10日に26.39% (高値) →21日に23.98% (安値) と乱高下し、月末25.29%で行って来い。

ETHのシェアは9.34%→10日に10.21% (高値) →月末9.13%へ微減。上昇分の大半を戻し、前月比では小幅に後退。

小型アルトは12日に6.51%へ急伸した後、資金逃避で0.47%まで急減。ミーム・AIテーマの短命ぶりを示しました。

総じて、**ETF期待剥落後も最終的にはBTCへの回帰が顕著**で、リスク選好はやや後退したものの市場全体の基軸は揺らいでいません。なお7月は材料難が続き、**BTC優位の小幅レンジが予想**されます。



※TokenInsight調べ

Bitcoin Monthly returns

Time	January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December
2025	+9.2%	-17.2%	-2.3%	+14.08%	+10.99%	+3.55%						
2024	+0.82%	+43.55%	+18.81%	-14.76%	+11.07%	-6.94%	+2.95%	-8.4%	-7.27%	+10.76%	+27.27%	-2.85%
2023	+39.63%	+0.03%	+22.98%	+2.81%	-5.98%	+11.98%	-4.02%	-11.29%	+3.91%	+28.52%	+8.81%	+12.18%
2022	-16.64%	+12.21%	+5.39%	-17.3%	-15.4%	-27.28%	-14.8%	-13.88%	-3.12%	+5.54%	-14.22%	-3.59%
2021	+14.51%	+36.78%	+29.84%	-1.98%	-25.31%	-5.95%	+18.19%	+13.8%	-7.03%	+39.73%	-7.11%	-18.9%
2020	+29.95%	-6.4%	-24.92%	+34.36%	+9.51%	-3.18%	+24.03%	+2.82%	-7.51%	+27.7%	+42.95%	+44.92%
2019	-8.58%	+11.14%	+7.05%	+54.36%	+52.38%	+26.67%	-6.59%	-4.4%	-13.38%	+10.17%	-17.27%	-5.15%
2018	-25.41%	+0.47%	-32.85%	-33.43%	-18.99%	-14.62%	+30.94%	-9.27%	-5.58%	-8.82%	-34.57%	-5.15%
2017	-6.04%	+23.07%	-9.25%	+32.71%	+52.71%	+10.43%	+17.92%	+65.32%	-7.44%	+47.81%	+53.48%	+38.89%
2016	-14.82%	+30.08%	-8.38%	+7.27%	+18.78%	+27.14%	-7.47%	-7.44%	+6.04%	+14.71%	+5.42%	+30.8%
2015	-33.05%	+18.43%	-4.38%	-3.44%	-3.17%	+15.19%	+6.2%	-18.67%	+2.35%	+33.48%	+19.27%	+13.83%

※coinglass調べ



※TokenInsight調べ

日付	BTC市場割合	ETH市場割合	Top 50市場割合 BTC & ETHを除く	その他
2025-6-01	64.05%	9.34%	25.50%	1.11%
2025-6-10	65.95%	10.21%	26.39%	0.00% (データ無)
2025-6-24	67.56%	9.42%	26.34%	0.00% (データ無)
2025-6-29	65.10%	9.13%	25.29%	0.47%

※TokenInsight調べ

※大幅な変動がある場合、取得データの遅延や不一致がある可能性があります。

TSUDOIポートフォリオ 銘柄の解説

2025年1月より新規コンテンツとしてスタートしたTSUDOIポートフォリオ銘柄については、過去に本分析レポートにてGoodマークを付与した銘柄から選出しております。本コンテンツでは、ポートフォリオに選定、保有し続ける理由についての解説を行っています。

各種注目ポイント(6月末時点)

XRP (上方修正)

SECとの訴訟和解により規制問題が解決し、フランクリン・テンブルトンなど大手運用会社がXRP現物ETF申請を開始。ETF年末承認確率98%でポリマーケット予測。XRP Ledgerの日次アクティブユーザーが7倍増加し、国際送金市場で今後5年以内に14%のシェア獲得目標とリップルCEOが発言。機関投資家参入により中長期的な価格上昇基盤が構築済み。

Dogecoin (フラット)

CoinbaseがBase上でラップドドージコイン (cbDOGE) を立ち上げ、DeFi機能 (ステーキング・レンディング) を提供開始。ETF審査は延期されたが、決済採用拡大とX Money統合期待が継続。技術的に\$0.165の重要サポートレベルを維持し、DeFi統合による実用性向上が価格安定化要因として機能。

Cardano (フラット)

Midnight NetworkのNIGHTトークンエアドロップとApple製品向け開発ツール「CardanoKit」が進展。創設者ホスキソン氏が1億ドル相当のADAをBTC・ステーブルコインに変換提案でDeFiエコシステム強化を目指す。技術革新は継続中だが、大規模売却提案により短期的売り圧力懸念。中長期的には技術基盤強化が価値向上要因。

Hedera (上方修正)

SWIFTパイロットプログラムがQ3 2025本格ロールアウト予定で、10,000+TPS処理能力により国際決済を即時転送に短縮。企業向け許可型ネットワーク「HashSphere」が7-9月正式ローンチ。銀行・フィンテック向けRWAトークン化・CBDC送金サービス提供で企業レベル実用性が大幅向上。ETF審査延期も実用ケース拡大で価格上昇期待。

Chainlink (上方修正)

Mastercardと世界30億人のカード保有者向け暗号資産直接購入サービス開始を発表し、LINK価格13%急騰。従来金融インフラとDeFiの橋渡し役として重要ポジション確立。新報酬制度「Chainlink Rewards」開始でステーカー向けインセンティブ強化。複数Web3企業との連携により法定通貨から暗号資産へのシームレスな交換環境整備が完了。

Aave (フラット)

V4アーキテクチャが正式ローンチし、ハブ・アンド・スポークモデルでマルチチェーン運用性が向上。Sony支援のSoneiumブロックチェーンでローンチし、Astarとの流動性インセンティブプログラム開始。\$24億のDeFi TVL維持で分散型レンディング最大手地位継続。技術革新とマルチチェーン展開でリーダーシップ強化も競争激化で短期影響限定的。

Ondo (上方修正)

Global Markets Alliance設立でSolana Foundation・Bitgetなど業界大手と連合形成。\$693M規模のOUSGをXRP Ledgerで展開し、RWA市場\$23億成長を牽引。来月トークン化プラットフォームローンチで米国公開株式・債券・ETFアクセス提供予定。RWAエコシステムのリーダーシップ確立で中長期的価格上昇基盤構築。

Litecoin (フラット)

Bloomberg ETFアナリストが現物ETF承認確率95%と予測し、Polymarket上でも83%で承認期待。LTC価格が85.45ドルに上昇し、長期対称三角形からのブレイクアウト試行で135ドルターゲット設定。技術的にRSI50上回り、MACD強気クロス形成。ETF承認により機関投資家資金流入で認知度向上と流動性増加が期待される。

Solana (上方修正)

SECがSolana ETF発行者にS-1書類更新を6月中旬までに要請し、承認確率90%と予測。「Solana Summer」期待でSOLエコシステム関心急増、TVL48億ドル到達。Nasdaq上場企業Upexiが1億500万ドル相当のSOL保有量増加発表。ステーキング含むETF承認により機関投資家参入本格化でDeFi活動とネットワーク価値向上加速。

Sui (フラット)

Mysticeti V2展開によりレイテンシー削減・スループット増加で超高速アプリ構築支援。月間ステーブルコイン取引量1,400万件でEthereum (1,610万件) に迫る成長。4400万SUIトークン(約1億6000万ドル)アンロックで短期売り圧力懸念も、技術革新とステーブルコイン取引急成長が長期価値向上要因として期待される。

Raydium (フラット)

1月-3月の94%収益減少から劇的回復し、4-5月で収益倍増・3倍増を記録。韓国Upbit上場発表でRAY価格15%急騰し、新流動性とユーザーベース獲得。609%日中取引量増加でJupiterを上回り上位5位DEXに復帰。収益回復トレンドと新規上場効果で投資家の信頼回復が進行中。

Aerodrome Finance (上方修正)

CoinbaseがBase上DEXをリテラルアプリに直接統合発表でAERO価格22%急騰。Base活動1年で10倍増、Aerodrome TVL10億ドル達成で流動性支配。過去30日154億ドル取引量処理でUniswap・PancakeSwap上回る。Coinbase統合により数百万ユーザーへの直接アクセス提供で利用拡大加速。

Morpho (上方修正)

V2で業界初の固定金利・固定期間ローン導入し、機関投資家要求に対応。GelatoとのEmbeddedローンサービスでBTC担保USDC借入をワンクリックで実現。CoinbaseがBitcoin担保ローンで4億ドル処理実績。TVL65億ドル到達で機関レベルインフラ地位確立。革新的機能で従来DeFiを超越した金融商品構築が可能。

Cetus Protocol (フラット)

2億2000万ドルハッキングから17日間で迅速復旧し、流動性回復率85-99%達成。攻撃者資産1億6200万ドル回収とSui Foundation 3000万USDC融資で資金確保。完全オープンソース化移行とバウンティプログラム導入でセキュリティ強化。復旧後数時間でトップ10DEX復帰も、信頼回復には時間が必要。

Bittensor (上方修正)

サブネット数史上最高118個到達で分散型AIネットワーク拡張加速。BitGo・Yuma機関投資家向けステーキングサービス開始で信頼性向上。「AI領域のBTC」として発行枚数2,100万設定でナスダック企業保有発表。エコシステム多様化と機関参入で長期価値創造基盤が強化される。

Virtuals Protocol (上方修正)

初のAIエージェント「I.R.I.S.」をイーサリアムメインネット正式ローンチし、スマートコントラクトセキュリティ分析機能提供。Ethereum.orgが「Ethereum is for AI」メッセージで公式支持表明。50%トークンコミュニティ配布のGenesis Launchモデルで分散化推進。AIエージェント×DeFi分野での画期的進展を実現。

Lido DAO (フラット)

6月23-30日期间で、LIP-28デュアルガバナンス投票が実施され、stETH保有者に初めてガバナンス拒否権を付与する画期的改革が進行中。6/16 Polygon事業終了でEthereum集中戦略。LDOステーキングとプロトコル収益共有提案が6月25日時点で活発に議論され、承認時の価格上昇インパクトが期待されている。

Pyth Network (フラット)

6/4 520アプリケーション・100ブロックチェーンサポート継続中との発表。Sony Soneium・Coinbase International Exchangeとの戦略的パートナーシップが安定継続し、企業レベル採用基盤が確保されている。オラクル分野リーダーシップ維持で長期成長基盤は確保。

Deepbook Protocol (好材料なし)

6月期間中に特筆すべきファンダメンタル要素なし。主要進展は4月のBinance Futures上場とUpbit取引所上場で、現在は既存基盤の維持段階。

Frax (好材料なし)

6/25時点でFrax North Star提案V2 (FIP-428) が2845回閲覧、27返信の活発議論を記録し、Fraxエコシステム将来方向性決定の重要局面を迎えている。Fraxtal・AI技術開発継続中だが、6月に具体的成果発表なし。

Ethena (要注意)

6/25のBaFinとの最終合意によりEU全域から完全撤退が決定し、42日間の償還計画が発動された。56億USDe流通量を背景とした償還圧力により、ENA価格は6月25日0.2573ドルで24時間2.96%下落し、過去1ヶ月で29.70%の大幅下落を記録。規制監督の弱いオフショア事業への移管は、機関投資家からの信頼失墜と中長期的成長戦略への根本的影響をもたらしている。

GOODマーク付き銘柄 2025年 6月集計結果

トップ銘柄 分析ガイド 6/30

一般に、BTCの価格が下がる際には、アルトコインはBTCよりも大きく値下がりすることが多いです。これはアルトコインのリスクが高いことを意味します。しかし、市場が上昇する時には、アルトコインはBTCを上回る値上がりを見せることがあります。このため、BTCが下落している時にアルトコインのパフォーマンスを月単位で評価すると、成績が悪く見えることがあります。

6月1週目~6月4週目までの週次レポートにて選定された12つのTOP銘柄の中から6つのTOP銘柄にGoodマークを付与いたしました。

※この評価は、基本的に毎週金曜日に配信される週次レポート作成時または、月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。銘柄の中では、同じ銘柄が含まれていることがあります。

今月はおよそ1カ月を通して、**BTC価格**がおよそ2.6%上昇しており、12つのTOP銘柄の選定を行い6銘柄にGoodマークを付与しております。結果として2銘柄が価格高騰を経験し、3銘柄がBTC価格の推移よりも高パフォーマンスを出しています。

TSUDO I分析レポート マーク銘柄一覧

配信日	プロジェクト	上昇率
2025年6月6日	 Hyperliquid	23.78% 
2025年6月6日	 Ethena	17.19% 
2025年6月13日	 ChainLink	2.97%

配信日	プロジェクト	上昇率
2025年6月13日	 Uniswap	4.09% 
2025年6月13日	 Aave	-3.79%
2025年6月27日	 Hyperliquid	7.87% 

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

GOODマーク付き銘柄 2025年 6月集計結果

『狙い目：中堅・大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 6/30

6月1週目～6月4週目までの週次レポートにて、12つの狙い目：中堅銘柄を詳細に分析しました。

※今月は「大穴・新規銘柄」の選定はありませんでした。

※この評価は、毎週金曜日に配信される週次レポート作成時、または月次レポート作成時に、過去に配信された銘柄の価格動向を記録した情報を基に行われます。

『狙い目：中堅』に掲載した銘柄12つの中から、TSUDOIチームでは3銘柄、中長期的な成長の可能性を持つと判断し『👍』を付与しております。

配信日	プロジェクト	上昇率
2025年6月13日	 Maple Finance	19.73% 
2025年6月20日	 Aerodrome Finance	2.69% 
2025年6月27日	 Sei	3.16% 

『★』マークは、同時期のBTC価格の増減と比べ高いパフォーマンスを出していた銘柄に付与しています。

6月週次レポート掲載 TOP銘柄 継続分析ガイド

トップ銘柄 分析ガイド 6/30

この分析ガイドでは、6月の週次レポートにて記載された価格が急上昇したTOP銘柄に焦点を当てています。それぞれの銘柄について、レポート掲載時から月末までの時価総額ランキングの推移や、複数の海外格付けサイトの情報を基にしたTSUDOI独自の評価を紹介しています。これらの通貨は、100点満点での信頼性スコアとして、下記一覧の右側に記載されています。

TSUDOI週次分析レポート掲載銘柄一覧

※2024年9月より評価方法を一部変更しております。

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近30日間の 値上がり率	トークン価格 (6/27現在)	スコア (6/25現在)
2025年6月6日	#11→#11	 Hyperliquid 👍	Layer1	2.95%	¥5,285.48	69.08(+0.20)
2025年6月6日	#33→#36	 Cronos	CEX	-17.04%	¥11.70	59.81(-0.42)
2025年6月6日	#47→#50	 Ethena 👍	Stablecoin Protocol	-37.45%	¥36.17	—
2025年6月13日	#13→#14	 ChainLink 👍	Oracle	-18.18%	¥1,895.41	72.40(+0.08)
2025年6月13日	#28→#27	 Uniswap 👍	DEX	8.57%	¥997.96	73.10(+0.03)
2025年6月13日	#30→#30	 Aave 👍	Lending	-5.87%	¥36,952.08	72.09(-0.01)
2025年6月20日	#12→#13	 Sui	Layer1	-29.12%	¥379.84	70.28(-0.33)
2025年6月20日	#21→#21	 Hedera	Layer1	-23.13%	¥20.73	67.23(+0.06)
2025年6月20日	#30→#30	 Aave	Lending	-5.87%	¥36,952.08	72.09(-0.01)
2025年6月27日	#11→#11	 Hyperliquid 👍	Layer1	2.95%	¥5,285.48	69.08(+0.20)
2025年6月27日	#31→#31	 Aptos	Layer1	-5.69%	¥734.91	—
2025年6月27日	#33→#33	 Bittensor	AI & Big Data	-28.09%	¥46,512.33	60.57(-0.09)

月次レポート及び、週次レポートの使い方について

今月の週次レポートにおけるGoodマークが付与されたTOP銘柄にて、これらの銘柄が、**なぜ話題を集めているかを月次及び週次レポートの考察をご覧ください、投資家の皆様がより深く理解するための分析情報として**レポートを配信させていただいております。

トップ銘柄 スコア調査ガイド

スコア調査ガイドでは、海外の様々な格付けサイトから情報を集めて、TOP銘柄を評価しています。これらの格付けサイトは、プロジェクトの進行計画と現状、トークンの経済的側面、プロジェクトチーム、ビジネスパートナーや投資家、エコシステムの成長、トークンの市場パフォーマンス、技術基盤とセキュリティ、全体的な市場での成績、技術の採用状況など、多面的な観点からの情報を提供しています。

TSUDOIのスコアは、これらのサイトから収集した情報を元に、各プロジェクトの全体的な強みとリスクを評価し、100点満点でスコアを付けます。このスコアを前月のデータと比較し、総合的な評価を行っています。**※2024年9月より評価方法を一部変更しております。**

スコアの読み方

トップ銘柄の仮想通貨は、このスコアが安定しており、**4点以上の大きな変動がある場合は、そのプロジェクトの健全性を再評価する指標**として使っていただければと考えています。

6月の時価総額TOP50銘柄の本スコア推移

上記の基準にて5月の調査を行ったところ、今月に入り**+4以上スコアが上昇**、**-4以上のスコア**を落とした銘柄ともにありませんでした。

オンチェーン&オフチェーン分析ガイド

Goodマークが付与されたトップ銘柄の中で、特に特徴的なデータが確認できたものについて、直近1ヶ月間のTVL、ステーキング、Xフォロワーの増減など、さまざまなデータをもとに分析・考察した情報をご提供しています。

総預かり資産上位10銘柄の中で、Avalancheが直近1週間で+13.05%と最高の成長率を記録。DeFiサービスへの資金流入が加速しています。Suiは+11.07%の好調な伸びを見せ、新しい技術への期待が高まっています。老舗のTronも+10.44%と堅調で、安定したサービス提供が評価されています。**新興のHyperliquid L1も+9.71%と上位陣に迫る勢い**です。トップ10銘柄全体で資金流入が活発化しており、暗号通貨市場の回復基調が鮮明になっています。

6月週次レポート掲載 中堅銘柄 継続分析ガイド

『狙い目：中堅銘柄』 発掘ガイド 6/30

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）の時価総額ランキング50～400位に位置する『狙い目：中堅銘柄』に焦点をあてた情報を提供するものです。週次レポートに記載いたしましたCMCサイト内、検索トレンド中堅銘柄に関する月末時点での経過調査となります。

週次 検索トレンドの経過調査一覧

作成日6/27

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近1カ月の トークン価格上昇率
2025年6月6日	#84→#84	 <u>Pancake Swap</u>	DEX	-23.49%
2025年6月6日	#134→#120	 <u>Compound</u>	Lending	7.57%
2025年6月6日	#144→#165	 <u>Livepeer</u>	AI	0.32%
2025年6月13日	#71→#63	 <u>Kaia</u>	Layer1	55.57%
2025年6月13日	#108→#86	 <u>Maple Finance</u>	Lending	32.92%
2025年6月13日	#119→#141	 <u>Axelar</u>	Cross chain	-7.95%
2025年6月20日	#66→#63	 <u>Kaia</u>	Layer1	55.57%
2025年6月20日	#81→#89	 <u>Aerodrome Finance</u>	DEX	33.09%
2025年6月20日	#299→#314	 <u>Lagrange</u>	Zero Knowledge	-3.10%

※Aerodrome Finance:直近の動向は3ページを参照

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	直近1カ月の トークン価格上昇率
2025年6月27日	# 51 → # 51	 Sei 	Layer1	23.93%
2025年6月27日	# 74 → # 74	 Sonic	Layer1	-31.23%
2025年6月27日	# 93 → # 86	 Maple Finance	Lending	32.92%

上記『狙い目：中堅銘柄』に関する最新のトークン価格への影響が予想される話題についての調査結果をPick Up!!

Maple Finance : SYRUP

注目ポイント：TVL急拡大、利用者増が示す事業基盤の安定性

4週目週次レポートに記載の通り、Maple Financeは年初来のTVL（預かり資産総額）が約17億ドルに到達し、約5倍の伸びを記録。単なる投機ではなく、実際の利用者がレンディングを活発に活用している証拠と言える。実需を伴った利用の増加は収益基盤の安定を意味し、今後の市場環境改善とともに、さらなる需要拡大が見込まれる。実用性重視の事業成長が投資家に再評価されれば、トークン価格の安定した上昇が期待できる。

Sei : SEI (GOOD継続中)

注目ポイント：米規制後押しの成長株、政府採用で存在感強化

直近配信レポートでの報告通り、米ワイオミング州がステーブルコイン（WYST）のブロックチェーン基盤候補としてSeiの名前が挙げられています。さらにCircleのIPO提出書類においても、SEIトークンが最大保有資産（数量ベース）として明記され、機関投資家からの評価も一層向上した。規制に基づく政府採用が実需を高め、公的資金のオンチェーン進出を促進する公算大。安定した需要拡大により、トークン価値の長期的な成長余地は大きく、競合チェーンとの差別化が鮮明に。

有名VCによる 資金調達最新情報分析

『大穴：新規銘柄』 発掘ガイド 6/30

2025年5月28日～6月27日までの期間において、仮想通貨業界における大手ベンチャーキャピタル(VC)の出資実績を詳細に調査し、大穴：新規銘柄を分析します。

今月の主な業界の資金調達プロジェクト数は63社となり、大手VCからの出資を受けたプロジェクトは19社となります。下記は、大手VCから出資を受けた銘柄の中でTSUDOIスタッフが注目する3つのプロジェクトとなります。

※大手VCについては投資資金の大きいTOP20を対象としております。

プロジェクト名	カテゴリー	調達ラウンド	金額	大手VC一覧	融資日	注目度 (3点満点中の評価)
 BitVault	DeFi	プレシード ラウンド	\$2.00M	GSR Gemini etc...	2025年 6/18	事業モデル ★★☆(2.5) メンバー ★★(2.0)
 XFX	Infrastructure	シード ラウンド	\$9.10M	Haun Ventures Castle Island Ventures etc...	2025年 6/17	事業モデル ★★☆(2.5) メンバー ★★☆(2.5)
 Yupp	Infrastructure	シード ラウンド	\$25.00M	Andreessen Horowitz Coinbase Ventures etc...	2025年 6/13	事業モデル ★★☆(2.5) メンバー ★★★(3.0)

6月の資金調達事情について

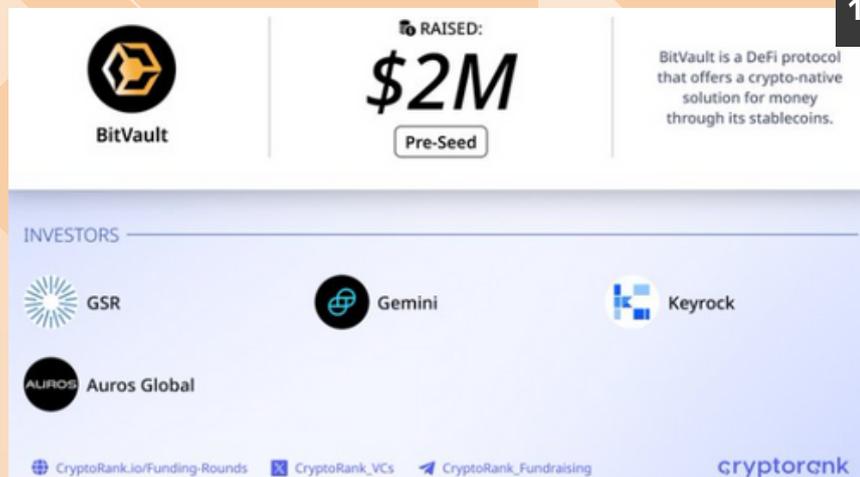
今月のブロックチェーン業界では、資金調達総額が執筆現在14億5千万ドル（約2,088億円）となりました。先月（約321億円）から大きく伸長し、市場の回復基調を示しています。全体的にバランス良く資金が流入し、業界の安定的な成長が伺えます。今後も市場の勢いが維持されるか注目が集まります。

6月の投資比率を見ると、Infrastructure（34.9%）が最多で、Others（28.6%）、DeFi（15.9%）、CeFi（11.1%）、Web3（9.5%）と続きます。特にインフラ分野の投資比率が先月からさらに拡大しており、基盤技術への期待が高まっていることが分かります。新たな分野への投資も活発化しており、多様なイノベーションが期待されます。

BitVault

分野：DeFi

◆ トークン未発行



01. 概要 企業資金調達の新基準『BitVault』

BitVaultは、ビットコインを担保に1ドルとほぼ同じ価値を保つ暗号通貨「bvUSD」と、その安全度を高めた「sbvUSD」を発行する分散型金融プロトコルです。利用できるのは審査を通過した企業のみで、貸し借りや金利設定はブロックチェーン上で自動化されます。複数の担保でリスクを抑え、価格の安定と資金移動のしやすさを両立しており、将来は他チェーンとの連携も予定されています。これにより企業は保有ビットコインを眠らせず運用し、低コストで資金を調達できます。初心者にも理解しやすい仕組みです。

02. 運営メンバー

Founder兼CEO：Francesco Madonna氏、コア貢献者：Michael Kisselgof氏

創設者兼CEOのFrancesco Madonna氏は、10年以上にわたりビットコインセキュリティ分野をリードし、セルフカストディ「Be Your Own Vault」理念の下、BitVault.svで堅牢な基盤を設計。PoW Spaceでも啓蒙活動の続け、多プロジェクトで安全性向上に貢献しています。コア貢献者のMichael Kisselgof氏はVaultCraftで培ったDeFi技術を武器に、BitVaultのスマートコントラクト実装とBTC担保ステーブルコイン設計を主導。「Bitcoin was built for moments of fracture…」と語り、ビットコイン実用性の革新を推し進めています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆☆(2.5)

BTC担保型ステーブルコインの発行に特化したモデルは、資産効率の向上やBTCの新たなユースケース創出の観点から評価できます。ただし、競合する類似プロトコルとの差別化要素や、AI経済圏など他分野との明確な連携性が示されておらず、市場環境や規制リスクへの対応方針も引き続き注視が必要です。

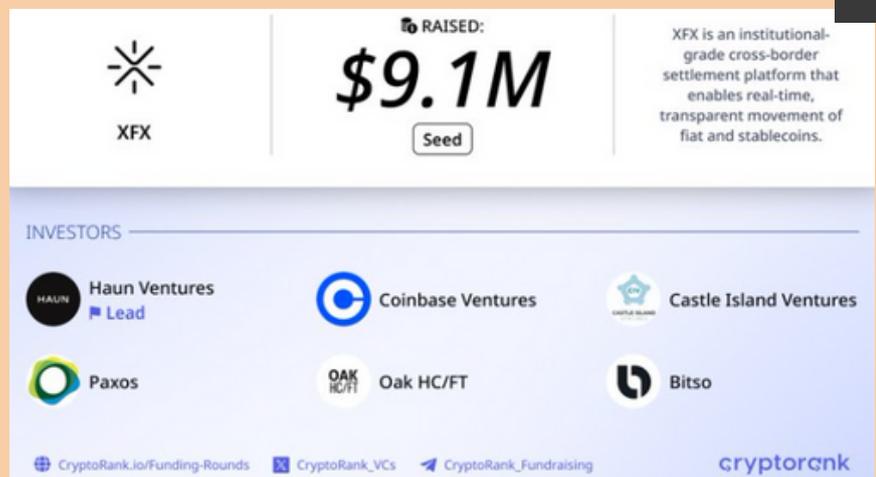
メンバー ★★(2.0)

ビットコイン領域で豊富な経験を持つメンバーで構成されており、セキュリティやスマートコントラクト実装に関する信頼性は高いと判断できます。一方、規模拡大やクロスチェーン展開など、今後の事業開発や規制対応を牽引できる人物が追加されると、チームの総合力としてさらに強固になるでしょう。

XFx

分野： Infrastructure

◆ トークン未発行



01. 概要 国境、通貨、手数料を超越する送金へ『XFx』

XFxとは、国境や銀行の垣根を越えて、企業や金融機関が安全かつ高速に送金・決済を行えるインフラを提供するプロジェクトです。従来の国際送金は高コストで時間がかかり、複数通貨や規制対応が障壁となっていました。XFxはブロックチェーン上で取引を自動処理し、複数国間の大口決済をリアルタイムに清算します。透明性と安全性を確保しつつ手数料と待ち時間を大幅に削減し、企業がグローバル取引を簡単に行える世界を目指しています。さらに、スマートコントラクトによって条件付き支払いを安全かつ効率的に管理します。

02. 運営メンバー

Co-Founder兼COO：Alberto Sánchez Tello氏、Co-Founder兼CEO：Santiago Alvarado氏、Co-Founder兼CTO：Jason Losh氏

COOのAlberto Sánchez Tello氏は、世界最大級の資産運用会社BlackRockで約9年間事業運営やマーケティングを統括。スイス大手金融機関UBSでも約4年間、証券部門やオペレーションの要職を歴任後、暗号資産取引所Bitsoで市場部門を牽引し、金融分野で20年以上の実績を有します。CEOのSantiago Alvarado氏はラテンアメリカ最大規模の暗号資産取引所Bitso BusinessのB2B部門立ち上げを主導。CTOのJason Losh氏はQredoの技術責任者やBitsoのエンジニアリングSVPを務め、機関向けブロックチェーン技術に精通しています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆☆(2.5)

XFxのクロスボーダー決済は、高コスト・多通貨取引を即時清算する明快なペイン解決型。ただし規制対応と銀行接続の道筋が見えず、Ripple/Stellarとの差別化を裏付ける実運用データが普及の鍵。条件付き支払いなど具体例を早期に示せるかが拡大を左右するとみられます。

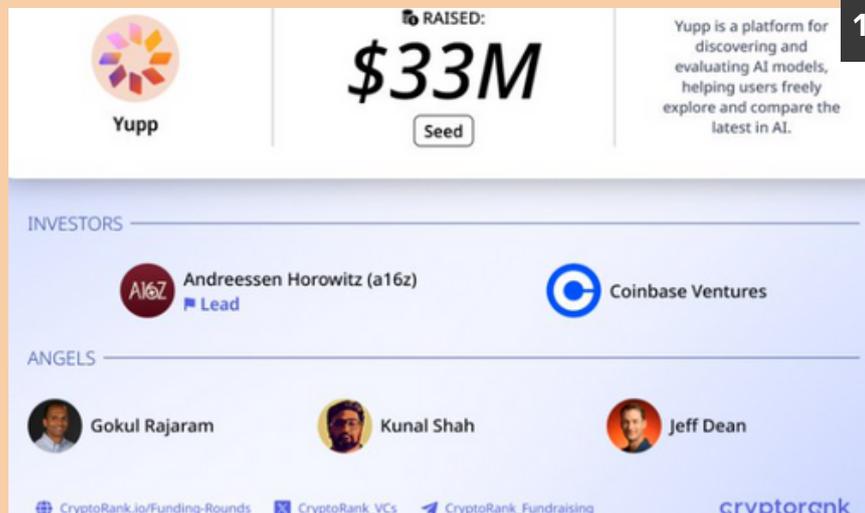
メンバー ★★☆☆(2.5)

BlackRock出身のAlberto氏とBitsoでB2Bを統括したSantiago氏に加え、機関向けチェーン開発経験を持つJason Losh氏と、金融×暗号資産のバランスは良好です。ただし規制ロビーや大規模決済スケールの実績が不足しており、さらなるグローバル展開と事業加速には経営層の補強が必要です。

Yupp

分野：Infrastructure

◆ トークン未発行



01. 概要 公平な比較がAIを磨く『Yupp』

Yuppとは、AI（人工知能）モデルの性能や品質を誰もが公平に評価・比較可能なブロックチェーンベースのプラットフォームです。ユーザーは複数のAIモデルが生成した結果を同時に閲覧・比較し、最適な回答を選ぶことで客観的な評価データを形成します。評価プロセスや結果はブロックチェーンで透明化され、誰でも確認可能。評価に参加したユーザーは報酬を得られ、開発者は信頼できるデータを取得できるため、透明で信頼性の高いAIの進化を促進します。

02. 運営メンバー

Co-Founder兼CEO：Pankaj Gupta氏、Co-Founder兼AI責任者：Gilad Mishne氏、チーフサイエンティスト：Jimmy Lin氏

CEOのPankaj Gupta氏は、TwitterやGoogleで10年以上にわたり大規模なAIシステム開発を統括。暗号資産取引所Coinbaseの技術副社長としても基盤構築を主導し、豊富な技術と経営経験を持ちます。AI責任者のGilad Mishne氏はYahooやTwitterで検索システムの開発責任者を務め、Google Xで先進的なAI研究開発を指揮。チーフサイエンティストのJimmy Lin氏はMIT博士号を持ち、Twitterでデータサイエンス基盤構築に携わるなど、20年以上のAI研究実績を有します。

Yuppは彼らの確かな技術力と豊富な実績を基盤に、公正で透明なAI評価プラットフォームの構築を進めています。

リサーチ担当のコメント

事業モデル ★★☆(2.5)

Yuppは、報酬付きクラウドソースとオンチェーン検証でAI評価データの質向上を狙う革新的モデル。公平性と透明性を担保できる反面、評価者・開発者のネットワーク効果を早期に得られるかが最大の課題。企業・研究機関との実用提携を増やし導入事例を示せば、市場での立ち位置は確固たるものになるでしょう。

メンバー ★★★(3.0)

旧Twitter・Google・Coinbaseで基盤構築を率いたPankaj氏を筆頭に、検索開発のGilad氏、MIT博士号のJimmy氏が揃い、大規模AIとブロックチェーン双方で一級の実績を持つ布陣。技術面は申し分ない一方、規制対応や営業をリードするビジネス人材を補強できれば成長がさらに加速するとみられます。

6月週次レポート掲載 新規銘柄 継続分析ガイド

『大穴：新規銘柄』発掘ガイド 6/30

2025年6月1日から6月27日までの期間において、CMCで新規リストされ、時価総額ランク50位以下の『大穴：新規銘柄』の月末時点での経過調査となります。

CMC新規リスト銘柄

配信日時	CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格 (掲載~6/30比較)
今月は該当する銘柄はありませんでした					

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>
- TokenInsight : <https://tokeninsight.com/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>